

おわりに

みなさんは「Nothing About Us Without Us
(私たちのことを私たち抜きに決めないで)」という言葉を知っていますか。

これは、2006年12月の国連総会で採択された「障害者の権利に関する条約」を作る際、障がいのある人々の共通の想いをあらわす言葉として使われました。

でもこれって障がいがあるないにかかわらず誰もが思っていることですよ。ね。
「自分たちのことは自分たちで決めたい」とか、「自分の想いは自分の言葉で伝えたい」とか。
このリーフレットもその考え方を大事にして、さまざまな学生からの声をお届けすることにしました。

また、2016年4月1日には「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律
(通称、障害者差別解消法)」が施行されます。
これは障がいを理由に不当な差別取扱いをしてはならないというもので、
障がいがある人もない人も誰にとっても生きやすい社会への大きな第一歩です。

人にはさまざまな違いがあります。
見た目、言葉、性、国籍(出身地)、習慣、障がい、好み、価値観など、
同じなんてありえなくて、みんな違って当たり前です。

違うからこそ、時にすれ違ったり、誤解することもあります。
違うからこそ、分かってほしいという気持ちも生まれてきます。

違う者同士『Te to Te』をとって生きていきたいですね。